

名古屋大学

国際言語文化研究科

全学向け授業案内

「外国語特別研修コース」及び「セミナー」について

国際言語文化研究科全学向け授業は「外国語特別研修コース」及び「セミナー」からなっています。「外国語特別研修コース」はいわゆる演習を主体とした少人数による外国語授業、「セミナー」は外国語の学修を通して言語文化の知識を養い、異文化理解を深めることを目指す授業です。皆さんの積極的な受講を期待しています。

2008年度後期

〈学部学生の皆さんへ〉

「全学向け授業」として登録する場合は、本冊子に従って手続をしてください。全学教育科目の「言語文化Ⅱ」として登録する場合は、教養教育院作成の「履修に関する注意事項」に従って手続をしてください。

I. 授業科目（授業時間割表及び授業要覧は9ページ以降に掲載）

外国語特別研修コース

科 目		開講期間
		後 期
英 語	Level 2 a	—
	Level 2 b	○
	Level 3 a	—
	Level 3 b	○
ド イ ツ 語	Level 1 a	—
	Level 1 b	○
	Level 2 a	—
	Level 2 b	○
	Level 3 a	—
	Level 3 b	○
フ ラ ン ス 語	Level 1 a	—
	Level 1 b	○
ロ シ ア 語	Level 1 b	○
中 国 語	Level 2 a	—
ス ペ イ ン 語	Level 2 a	—
朝 鮮・韓 国 語	Level 2 b	○
ポルトガル語 アタリア語 ラテン語 古典ギリシア語	Level 1 a	—
	Level 1 a	—
	Level 1 b	○
	Level 1 b	○

セミナー

科 目		開講期間
		後 期
英 語	言語文化セミナー	○
	言語表現セミナー	○

注) Level 1, 2, 3 は、この順で授業内容が高度になります。

II. 授業期間・休業日・休講日・授業時間帯

1. 授業期間

後期：2008年10月1日(水)～2009年1月26日(月)

2. 休業日

冬季休業期間：2008年12月28日(日)～2009年1月7日(水)

3. 休講日

大学入試センター試験実施準備：2009年1月16日(金)（予定）

4. 定期試験期間

後期：2009年1月27日(火)～2月9日(月)

5. 授業時間帯

- 第1時限 8：45～10：15
- 第2時限 10：30～12：00
- 第3時限 13：00～14：30
- 第4時限 14：45～16：15
- 第5時限 16：30～18：00

Ⅲ. 受講対象者

受講対象者は、本学の学部学生、大学院生、研究生等及び本学職員です。

ただし、特別聴講学生、科目等履修生、聴講生は受講できません。

Ⅳ. 休講等

各授業科目の休講、教室変更、授業に関することは、全学教育棟本館1階「全学向け授業」掲示板で通知します。

Ⅴ. 成績の通知

成績評価の通知は以下のとおり行います。

1. 学部学生、大学院生、研究生等については、各部署長あてに通知します。
2. 職員については、本人に通知します。

Ⅵ. 受講の辞退

事情により学期途中で受講できなくなった場合には、文系事務部教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口で交付される所定の「全学向け授業辞退届」を、必ず授業担当教員に提出して下さい。この手続きを行わずに受講放棄すると、以後、受講を認めないことがあります。

Ⅶ. 受講申込み手続き

1. 外国語特別研修コース

英語

1. 受講申込カード(黄色の3連カード)配付場所及び申込場所

文系総合館1階 文系事務部教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口（7ページ配置図参照）

2. 申込期間及び時間 期間：2008年9月24日（水）、25日（木）
時間：9:00～12:00、13:00～17:00

* 英語授業申込カードは、この期間以外には配付しません。また、受講申込は、申込期間以降は受け付けませんので注意してください。

3. 受講申込カード記入・提出について

受講希望者は、「受講申込カード」に必要事項を記入のうえ、申込期間中に文系事務部教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口提出してください。特に以下の①～③については、注意事項をよく読んで記入してください。提出の際には、本人保存用及び教員保存用の紙片を返却しますので、教員保存用の紙片は第1回目の授業時に授業担当教員に渡してください。また、本人保存用の紙片に記載してある受講受付番号により受講調整結果を掲示しますので、結果の確認には必ずその紙片を持参してください。なお、受講する授業が決定した後も、本人保存用紙片は保管しておいてください。

- ①『TOEIC点数（または自己採点）』：

「英語Level 2」及び「英語Level 3」の受講を希望する人は全て、TOEIC公開試験あるいはその模擬問題集によって得た自分の英語力の点数を受講申請の際に記入せねばなりません。TOEIC受験、あるいはその模擬問題集の採点は各自で行ってください。TOEIC以外の試験の点数は不可。

TOEIC模擬問題集として、例えば以下のものが出版されています。

- (1) 『TOEIC公式ガイド&問題集Vol.2』（国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC運営委員会、2002年）2,940円
- (2) 岩村圭南（著）『TOEICテストまるごと模試600問—CD2枚付き』（アルク、2004年）2,310円
- (3) 『TOEICテスト完全攻略』（旺文社デジタルインスティテュート、2001年）7,140円
- (4) 『TOEICテストスーパー模試シリーズ470点攻略』、『TOEICテストスーパー模試シリーズ600点攻略』、『TOEICテストスーパー模試シリーズ730点攻略』（以上三点、旺文社デジタルインスティテュート、2003年）7,140円

* TOEICスコアの自己採点には、名大生協が実施している年4回（5，8，11，2月※予定）のカレッジTOEICも利用できます。

- ②『希望する級』：

TOEICあるいはその模擬問題集によって知り得た自分の英語力に応じて、「英語Level 2」ある

いは「英語 Level 3」のどちらかを選択し、申請してください。点数と Level の対応は以下のとおりです。

英語 Level 2 受講者の英語力：TOEIC 650点以上～749点以下

英語 Level 3 受講者の英語力：TOEIC 750点以上

なお、各々の Level の点数（TOEIC）に満たない場合は、受付できません。さらに TOEIC 750 点以上の場合は、Level 2 では受付できませんので、Level 3 を申し込んでください。

③『希望するクラス』

②で決まった Level の中から受講したいクラスを3つまで。記入した希望クラスまでで調整できなかった場合、同じレベルの任意のクラスに振り分けられることがあります。

4. 受講調整結果の発表

受講希望者が受講可能人数を超える場合は、提出された「受講申込カード」のデータをもとに受講調整を行い、各授業の受講者を決定します（決定後の問い合わせには応じません）。受講調整の結果は、9月29日(月)9時までに全学教育棟本館1階「全学向け授業」掲示板（6ページ配置図参照）に掲示します。

定員に限りがあるので、受講希望者が全員受講できるとは限りません。

5. 第1週の授業を無断で欠席した場合は、受講放棄とみなしますので、ご注意ください。この件に関する質問に対して、文系事務部教務課（国際言語文化研究科）は対応しません。

6. 決定された授業からの辞退は認められません。

7. 外国語特別研修コースの英語は、級を問わず一期に一クラスしか受講できません。

英語以外の外国語

全学向け授業としては、第2週〔10月8日(水)～14日(火)〕から開講します。

受講手続きは、次のとおりです。なお、希望者が多数の場合は第1回の授業時に受講調整を行います。

1) 受講申込カード配付場所

文系総合館1階 文系事務部教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口（7ページ配置図参照）

2) 配付期間及び時間

期 間：2008年10月1日(水)～14日(火)

時 間：平日 9：00～17：00

3) 配付カード

青色（三連）

4) 受講登録手続

第1回目の授業時〔10月8日(水)～14日(火)〕に受講が許可された授業科目について、「受講申込カード」のうち教員保存用の紙片を授業担当教員に渡し、事務室保存用の紙片を文系事務部教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口の「受講申込カード提出用ボックス」に提出してください（締切厳守）。

受講登録期間及び時間

期 間：2008年10月8日（水）～10月15日（水）

時 間：平日9：00～17：00

2. セミナー

英語セミナー

第1週〔10月1日（水）、～7日（火）〕から開講します。

受講手続きは、次のとおりです。希望者が多数の場合は第1回の授業時に受講調整を行います。なお、全学教育科目（学部生授業）として登録する学生が優先されます。

1) 受講申込カード配付場所

文系総合館1階 文系事務部教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口（7ページ配置図参照）

2) 配付期間及び時間

期 間：2008年10月1日（水）～10月14日（火）

時 間：平日9：00～17：00

3) 配付カード

青色（三連）

4) 受講登録手続

第1回目の授業時〔10月1日（水）～7日（火）〕に受講が許可された授業科目について、「受講申込カード」のうち教員保存用の紙片を授業担当教員に渡し、事務室保存用の紙片を文系事務部教務課事務室（国際言語文化研究科）窓口の「受講申込カード提出用ボックス」に提出してください（締切厳守）。

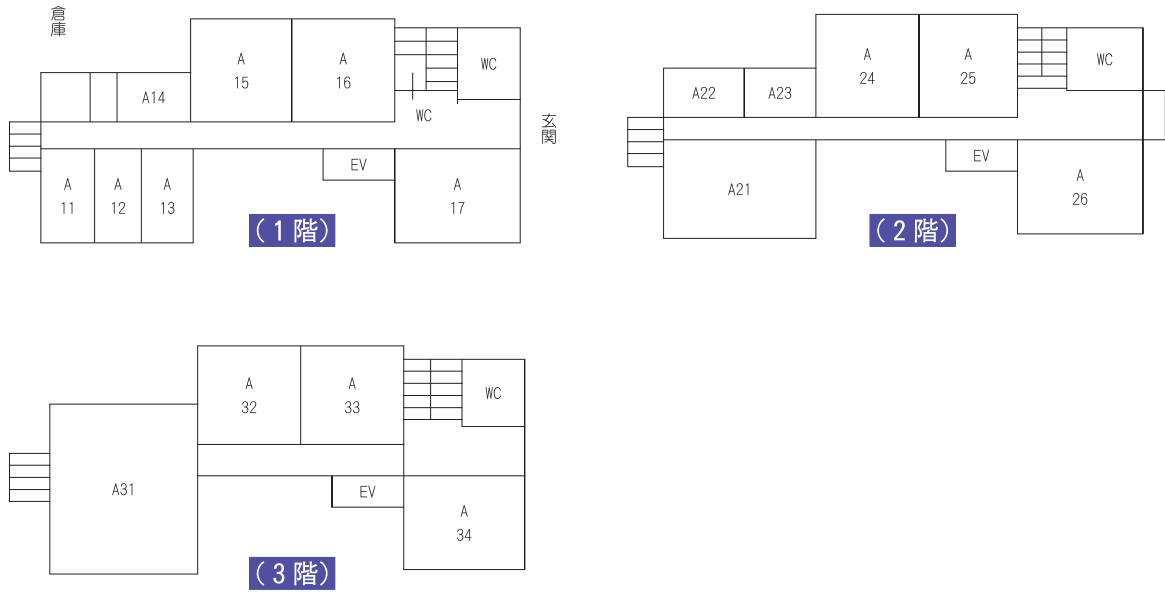
受講登録期間及び時間

期 間：2008年10月1日（水）～10月15日（水）

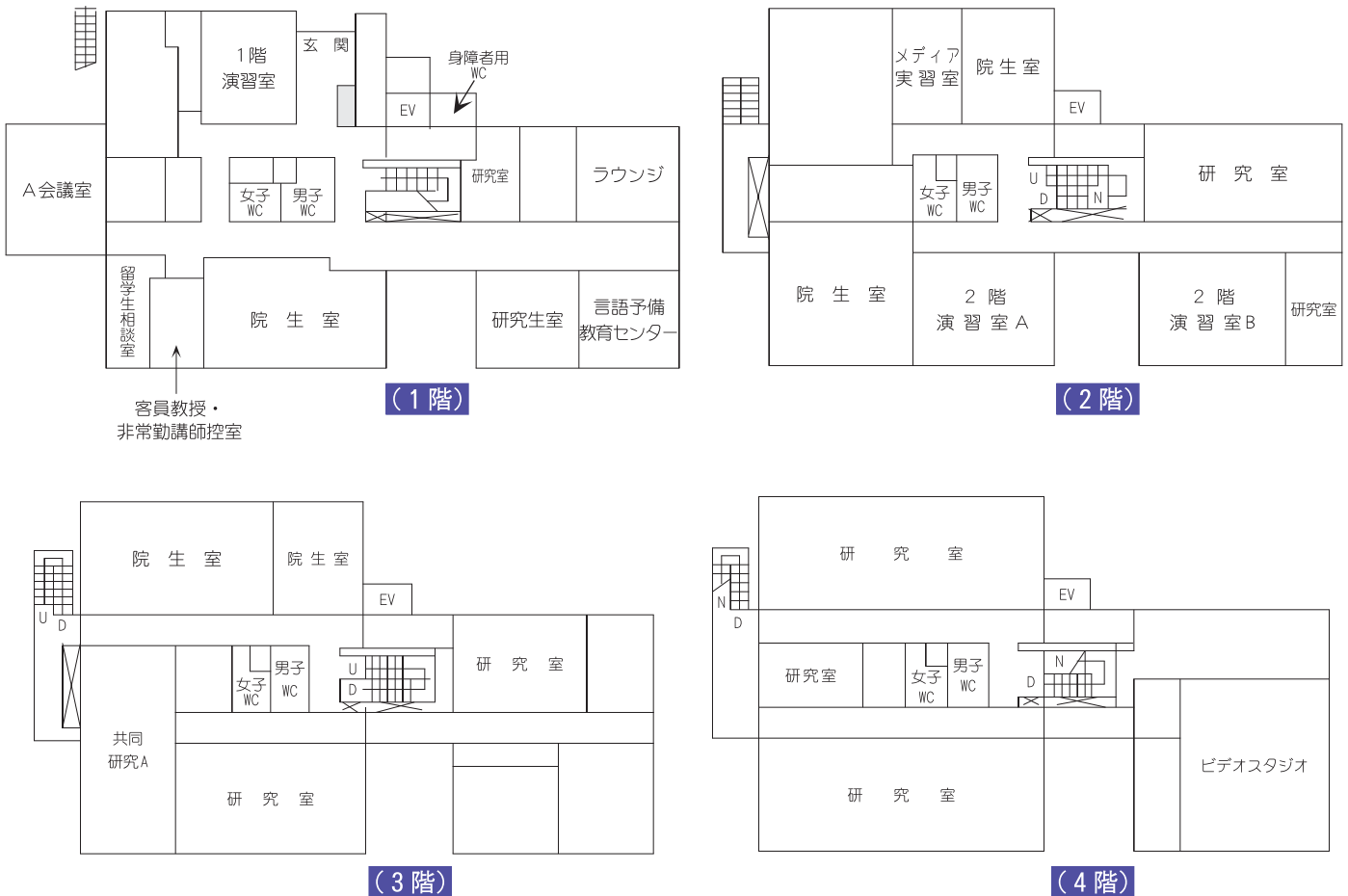
時 間：平日9：00～17：00

全学教育棟及び国際言語文化研究科棟教室配置図

《全学教育棟 A館》



《国際言語文化研究科棟》





(1階)



2008年度後期・授業時間割表

「外国語特別研修コース」

	授 業 科 目	記号	担当教員	曜日(時限)	教室	定員	備 考
英 語	英語 Level 2b	A	MORITA CHUA LIANG	火(4)	C32	20	
	英語 Level 2b	B	POTTER SIMON R.	水(3)	S18	20	
	英語 Level 2b	C	LONGCOPE PETER D.	木(2)	C30	20	
	英語 Level 2b	D	STAVOY JOSEPH A.	金(2)	S19	20	
	英語 Level 3b	E	POTTER SIMON R.	火(2)	A25	20	
	英語 Level 3b	F	LONGCOPE PETER D.	水(4)	S15	20	
	英語 Level 3b	G	STAVOY JOSEPH A.	金(4)	S17	20	
ド イ ツ 語	ドイツ語 Level 1b		高 畑 祐 人	火(1)	S15	20	前期(小坂)から継続
	ドイツ語 Level 2b		J. Peters	水(3)	S12	20	前期から継続
	ドイツ語 Level 3b		J. Peters	水(4)	1F演	20	前期から継続
フ ラ ンス 語	フランス語 Level 1b		新 井 美佐子	月(5)	A12	20	前期から継続
	フランス語 Level 2b		GRAZIANI JEAN-FRANÇOIS	月(5)	A13	20	前期から継続
ロ シ ア 語	ロシア語 Level 1b		SAVELIEV IGOR	火(2)	S18	20	前期から継続
	ロシア語 Level 2b		山崎 タチアナ	金(3)	S13	20	前期から継続
中 国 語	中国語 Level 1b		加 納 光	水(2)	S18	20	前期から継続
	中国語 Level 2b		前 田 光子	月(3)	S19	20	前期から継続
ス ペ イ ン 語	スペイン語 Level 1b		宮 下 克子	水(4)	S16	20	
	スペイン語 Level 2b		西 村 秀人	木(4)	S15	20	
朝 鮮 ・ 韓 国 語	朝鮮・韓国語 Level 1b		洪 順 愛	金(3)	S18	20	前期から継続
	朝鮮・韓国語 Level 2b		金 元 榮	火(3)	S15	20	前期から継続
	朝鮮・韓国語 Level 2b		鄭 芝 淑	木(5)	言セ	20	前期から継続
ポルトガル語	ポルトガル語 Level 1b		重 松 由美	木(2)	A12	20	前期から継続
ラ テ ン 語	ラテン語 Level 1b		有 川 貫太郎	木(4)	CALL4	20	前期から継続
古典ギリシャ語	古典ギリシャ語 Level 1b		有 川 貫太郎	水(4)	CALL2	20	前期から継続
イ タ リ ア 語	イタリア語 Level 1b		A. Sciucca	水(4)	S14	20	前期から継続

「言語文化・表現セミナー」

	授 業 科 目	担当教員	曜日(時限)	教室	定員	備 考
英 語	言語文化セミナー	長 畑 明 利	火(2)	A33	20	全学部
	言語文化セミナー	鈴 木 繁 夫	金(2)	A15	20	全学部
	言語表現セミナー	杉 浦 正 利	月(4)	CALL2	20	全学部
	言語表現セミナー	岩 城 奈 巳	火(1)	CALL4	20	全学部
	言語表現セミナー	滝 沢 直 宏	水(1)	CALL3	20	全学部

注) 講義室の表示について

- 「C10」(Cで始まるもの)、「CALL1」(CALL): 全学教育本館
- 「S19」(Sで始まるもの): 全学教育棟本館南棟
- 「言セ」: 国際言語文化研究科棟1階言語予備教育センター
- 「A34」(Aで始まるもの): 全学教育棟A館
- 「1F演」: 国際言語文化研究科棟1階演習室

〈外国語特別研修コース〉

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
英 語 Level 2b	MORITA CHUA LIANG	火(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい The purpose of this course is to help students become more confident and comfortable in the use of English, especially in spoken English, and to enable them to express themselves better in the language. Students will be taught to express their ideas and opinions more effectively and therefore to be better communicators.</p> <p>授業内容 In my experience of teaching English in Japan, I have found that many students acquire many words and phrases over their school years without learning how to put them into use. Similarly, they spent tremendous amounts of time on grammar but without using them effectively when they speak English. A major goal of this course is to help students tap into their passive knowledge of English and turn it into a tool of communication. New words and phrases will of course be introduced to help students improve their power of expression. The emphasis is on practical usage rather than on theoretical principles. Every effort will be made to encourage students put into active use what they learn in class. Class time is spent in a variety of ways, including short video viewing, student presentations, pair work, group work, class debate and other class activities. There are plenty of opportunities for students to speak in English. Common vocabulary and grammatical errors will also be pointed out and explained. Aspects of pronunciation will be elaborated on in order to help students speak more clearly and therefore to become more intelligible to an international audience. The topics covered have included the following in the past but may differ depending on student interests: cross-cultural miscommunication, common English mistakes among learners of English, difficult language situations (such as apologising, asserting oneself etc.), different varieties of English (British English, American English etc.), cultural sensitivity, current controversial subjects (such as discrimination, sexual harassment etc.) and sometimes seasonal themes such as Christmas.</p> <p>成績評価の方法 Evaluation is based on attendance, participation and an oral examination. Participation in each lesson is a very important basis for evaluation. The oral examination is conducted individually.</p> <p>参考書 The Cambridge Encyclopedia of the English Language by David Crystal.</p>
英 語 Level 2b	POTTER SIMON R.	水(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい The main objective of Intermediate English will be to cultivate better linguistic skills and habits as well as to increase fluency through informal, relaxed practice.</p> <p>履修条件・関連する科目等 Beginning-level university English or the equivalent.</p> <p>授業内容 Each class meeting will involve activities in reading, listening, writing, and speaking about a given theme or topic. The themes or topics will address social issues that are valid in today's world, and some of them might be approached from a variety of valid perspectives. Students will be expected to think about the issues, to formulate their own ideas and opinions, and to present them in oral and written form. Preparing for the coming lesson and writing an essay of about 300 words will be assigned for homework, and each essay must be submitted on time (any handed in after the given deadline will not be accepted).</p> <p>成績評価の方法 Essays combined (i.e. the average of the individual essay grades) 51%, in-class participation (which reflects preparation, commitment, and linguistic effort) 49%.</p> <p>教科書 There will be a textbook with activities for this course, and specific information will be available at the first class meeting. Any textbook used in this course will not have been used for Intermediate English in Spring.</p> <p>参考書 A standard English-Japanese dictionary and a standard Japanese-English dictionary are recommended.</p> <p>注意事 Participation is very important.</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
英語 Level 2b	LONGCOPE PETER D.	木(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい The aim of this course is to help students to be able to participate in more advanced activities in English.</p> <p>授業内容 The activities in the course will focus around a variety of things including reading and discussing newspaper articles, watching and discussing TV dramas, and watching and discussing news programs.</p> <p>成績評価の方法 Grades will be based on class participation, scores of in-class tests and exams, and quality and timeliness of homework.</p>
英語 Level 2b	STAVOY JOSEPH A.	金(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい This course will utilize materials provided by the teacher. The main focus of the course is to provide ample speaking and listening opportunities for intermediate students. The main focus will be on speaking and listening but there will also be periodic pronunciation practice. Music, films and current topic readings will be used as supplementary material.</p> <p>授業内容 The topics below are tentative and subject to change. First impressions News and current events Stereotypes Exploring cities around the world Snack foods and restaurants Shopping, the supermarket Comedy and Humor Childhood, looking back The environment Death and superstitions Fads and trends</p> <p>成績評価の方法 Students will be evaluated on attendance, participation and examinations.</p>
英語 Level 3b	POTTER SIMON R.	火(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい The main objective of Advanced English will be to cultivate better linguistic skills and habits as well as to increase comfort and fluency through informal, relaxed practice.</p> <p>履修条件・関連する科目等 Intermediate-level university English or the equivalent.,</p> <p>授業内容 Class sessions will be devoted to doing the intellectual activities in the photocopied materials which will be handed out in the previous sessions and serve as homework. A major focus will be to discuss issues pertaining to culture, while another will be to examine examples of contemporary vocabulary since the meanings of some words seem to be changing. On each hand-out will be a question which will require an answer of approximately 300 words in a proper essay format.</p> <p>成績評価の方法 Essays combined (i.e. the average of the individual essay grades) 51%, in-class participation (which reflects preparation, commitment, and linguistic effort) 49%.</p> <p>教科書 There is no textbook per se, and the handed-out materials will not be the same as those which were used for Advanced English in Spring term. The hand-outs will however be related to the reference books.</p> <p>参考書 Adventures with Multiculturalism (2008) and Ameriglish Dictionary (2007), information about which will be made available in the first class session. For students interested in buying them, combined they will cost less than 3000 yen.</p> <p>注意事項 Participation is very important.</p>
英語 Level 3b	LONGCOPE PETER D.	水(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい The aim of this course is to help students to be comfortable being active participants in more advanced activities in English.</p> <p>授業内容 In this course, students will mostly be discussing more academically-oriented topics, learning related vocabulary, and listening to related lectures.</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
英語 Level 3b	LONGCOPE PETER D.	水(4)	20	成績評価の方法 Grades will be based on class participation, scores of in-class tests and exams, and quality and timeliness of homework.
英語 Level 3b	STAVOY JOSEPH A.	金(4)	20	本講義の目的およびねらい This course will utilize materials provided by the teacher. The main focus of the course is to provide ample speaking and listening opportunities for advanced students. Students will be expected to participate in discussions, debates, presentations and homework assignments. Supplemental material will be taken from TV programs, films, music, commercials, magazines and the internet. 授業内容 The list of topics below is tentative and subject to change. Mind and body Sleeping and dreaming Self-improvement Hopes and dreams Food, glorious food Success and wealth Agreeing and disagreeing Education and learning The News Spending money Fame and fortune Crime and punishment 成績評価の方法 Students will be evaluated on attendance, participation, presentations and examinations.
ドイツ語 Level 1b	高畑 祐人	火(1)	20	本講義の目的およびねらい ドイツ語をはじめて学ぶ学生を対象に、一貫した授業計画に基づいてドイツ語に関する基礎知識と運用力を養成する科目です。「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく総合的に身につけることを目指します。 履修条件・関連する科目等 授業は演習（特に口頭練習）を中心に行なわれますので、毎回出席することが履修の条件になります。 授業内容 前期小坂先生の授業を受けついで行います。 1. この授業ではドイツ語会話の基礎となる事項を練習します。 2. 学習する内容は以下の通りです。 1. 再帰代名詞 2. 付加語的形容詞の格変化 3. 過去形 4. 接続法 5. 形容詞・副詞の原級・比較級・最上級 6. 関係代名詞 成績評価の方法 平常点・試験を総合して判断します。 教科書 小坂光一『ドイツ語で話してみよう』（同学社） 注意事項 積極的な参加を望みます。
ドイツ語 Level 2b	J. Peters	水(3)	20	本講義の目的およびねらい このコースは「聞く・話す」と「読み・書く」能力を養成する。 履修条件・関連する科目等 優れた初級能力を持っている。 授業内容 すでに身に付けたドイツ語力により磨きをかけるために、教科書の文章、会話テキスト、練習問題を使うとともに、折に触れて補助教材も併用しながら学んでいきたいと考えます。 成績評価の方法 平常点（宿題、積極的な授業参加（＝熱心な取り組み、態度など））（50%）、抜き打ち小テスト（50%） 教科書 教科書は前期からの継続 参考書 独和辞典および和独辞典 注意事項 この授業は、1年計画で予定を組んでいる。従って、後期の履修者は、前期から同じ授業を継続して履修していることが望ましい。

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
ドイツ語 Level 3b	J. Peters	水(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい このコースは「聞く・話す」ことと「読み・書く」能力を養成する。</p> <p>履修条件・関連する科目等 中級能力を持っている。</p> <p>授業内容 ドイツ語力をさらに強化・発展させるという目標に到達するために、教科書の文章、会話テキスト、練習問題を使うとともに、折に触れて補助教材も併用しながら学んでいきたいと考えます。</p> <p>成績評価の方法 50%平常点(宿題、積極的な授業参加(=熱心な取り組み、態度など))、50%小テスト</p> <p>教科書 教材については、学生諸君と相談して決めます。</p> <p>注意事項 このコースは前期から引き継がれます。 学生諸君との相談次第では、開講曜日・時限を変更したいと思います。興味がある人は最初の授業にぜひ参加してください。</p>
フランス語 Level 1b	新井美佐子	月(5)	20	<p>本講義の目的およびねらい フランス語の基礎的な文法知識を獲得しつつ、それと同時に初歩的な運用能力も修得することを目指す。また、フランス語圏の社会と文化について、基礎的な知識を与える。</p> <p>履修条件・関連する科目等 新たにフランス語を始める学生のためのクラス。前期金曜5限に開講される藤村先生の「フランス語 Level 1a」を引き継ぐ。今期より受講を開始しても構わないが、授業内容は上記「フランス語 Level 1a」の続きからとなるので注意。</p> <p>授業内容 前期金曜5限の藤村先生の授業を引き継ぎ、週一度の授業で一年間かけてフランス語の基礎を学習する。 何についてもいえることだが、語学も積み重ねが重要である。予習は特に必要ないので、授業には集中して、フランス語を「理解する」よう努めてもらいたい。理解しないまま、ただ覚えようとするのは、効率的ではない。授業中にあるのは宿題で、テキストに載っている練習問題をやらせようが、その際、テキストの文法説明をよく読み、必要であれば辞書を引いて、理解しながら自分で答えることが大切である。定期試験の準備として、「基礎的な」事項を覚えることは必要だが、たくさんの単語のつづりを頭に詰め込むようなことは求めない。繰り返しになるが、「(丸) 暗記できているか」ではなく、「理解できているか」を問う出題になる。 フランス語は、フランスのみならずヨーロッパやアフリカなどの複数の国で、さらに国連はじめ多くの国際機関で、公用語に採用されている。フランス語を身につけるということは、単なる言語の習得にとどまらず、新しい視点や広い視野の獲得にもつながる。こうしたことも念頭に置きつつ、真摯に学んで欲しい。</p> <p>成績評価の方法 平常点(25%)ならびに定期試験(75%)</p> <p>教科書 『新C D フランス語文法』大木充 他著 朝日出版社</p> <p>参考書 授業中に適宜指示する。</p>
フランス語 Level 2b	GRAZIANI JEAN- FRANÇOIS	月(5)	20	<p>本講義の目的およびねらい L'objectif du cours sera d'arriver a articuler des expressions de maniere simple afin de pouvoir raconter des experiences, rapporter des evenements, parler de ses rêves et de ses buts, ainsi que d'exposer les raisons de ses opinions.</p> <p>授業内容 Les etudiants renforceront leurs competences en francais avec la methode "Taxi! 2" qui presente les avantages d'atteindre les objectifs linguistiques du niveau A2 du Cadre europeen commun pour l'apprentissage des langues, ainsi que de se familiariser avec la societe francaise et son actualite. Le principe methodologique du cours sera d'observer des documents originaux varies tels que des dialogues, des affiches de publicite ou de courts articles, de les analyser en detail, de reprendre certains points grammaticaux si necessaire, de reutiliser les expressions-cles et d'en discuter. Les themes concretement abordes seront choisis en fonction du profil des etudiants.</p> <p>成績評価の方法 平常点(積極的な授業参加、宿題)30%、小テスト30%、学期末の試験40%</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
フランス語 Level 1b	GRAZIANI JEAN- FRANÇOIS	月(5)	20	教科書 "Taxi! 2", Hachette FLE 参考書 授業の中で適宜指示する。 注意事項 日仏辞書が必要。
ロシア語 Level 1b	SAVELIEV IGOR	火(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい ロシア語の基礎を学ぶための科目である。バランスよくロシア語を学べるよう、基礎文法の学習だけではなく日常会話の練習や平易な文章の講読も行う。併せて、文化・風俗・歴史・社会事情など背景的知識を学習することによりロシア語世界の諸相を理解し、国際的視野の涵養を図る一步とする。目標は「ロシア語に触れる」である。</p> <p>授業内容 ロシア語の基礎を学ぶための科目で基礎文法の学習を主眼とする。さらにそれに加えて、ロシアの文化・現実も覗いてみたい。</p> <p>授業テーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文字と発音 (1) 2. アクセントと基本的な平叙文と疑問文 (1) 3. 文字と発音 (2)、基本的な平叙文と疑問文 (2) 4. 名詞の性 5. 文字と発音 (3)、動詞の現在人称変化 (1) 6. 子音の同化、アルファベット 7. 名詞の複数形と正書法の規則 8. 所有代名詞と疑問代名詞 9. 名詞の格と指示代名詞 10. 形容詞の性・数の変化 11. 動詞の現在人称変化 (2) 12. 前置格と前置詞 13. 動詞の過去形、生格 14. 所有の表現とその否定 15. 対格、活動体と不活動体 <p>成績評価の方法 学期末試験と出席を重視する。授業への参加度も評価する。</p> <p>教科書 佐々木照央「速修ロシア語」(白水社)。 参考書 露和辞典は、「研究社露和辞典」、「博友社露和辞典」、「岩波露和辞典」のうちから一冊を購入すること。 注意事項 音読と辞書引きは不可欠。</p>
ロシア語 Level 1b	山 崎 タチアナ	金(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい この授業は、初級コースを終えた学生を対象にしています。ネイティブが担当しますので、生きた会話を授業の軸足とし、90分間を積極的な質疑時間として構成します。言葉に表されている日本とロシアの生活スタイルの違いを追求しながら、ロシア語の表現と言い習わしを勉強します。目標は、ロシア語の語彙を増やししながら、自分のことを相手にロシア語で正しく伝えることができるようにすることです。</p> <p>授業内容 授業詳細：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. バスに乗る 2. 風邪を引く 3. 週末を過ごす 4. 新聞と雑誌 5. ロシア料理を食べる 6. 黄金の秋 7. 趣味のことを話す 8. 前半を振り返る 9. 冬の風物詩 10. 車を運転する 11. 手紙を書く 12. 天気と気候 13. アルバイトのことを話す 14. 春を迎える 15. 総合の復習 <p>毎回の予習として、テーマに合わせた小さな作文を次回のために用意してもらい、それをクラスで発表してもらいます。 具体的な流れは、以下のようになります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ウォーミングアップとして、毎回目付や天気をロシア語で確かめ、一

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
ロシア語 Level 1b	山崎 チアナ	金(3)	20	<p>つの単語を抜き打ちで取り上げ、それに関する慣用句、日常の言い回しを練習します。</p> <p>2. ロシア語の重要単語の中から、毎回幾つかを取り上げて、それに関する短いテキストを読んだり、質疑応答を活発に行ったりします。</p> <p>成績評価の方法 出席を重視すること、および試験期間内のマンツーマンでの口頭試験の2つの基準から成り立ちます。</p> <p>教科書 プリントを使用する。</p> <p>注意事項 毎回辞書と文法表を持参すること。</p>
中国語 Level 1b	加納 光	水(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい 中国語 Level 1b は、中国語 Level 1a の継続であり、教科書も初級中国語 Level 1a で用いた教科書を引き続き使用する。中国語の普通話の発音の習得に重点を置きながら、初級中国語で求められる読解力、文章力、会話力等の総合的な基礎学力の養成を目指す。</p> <p>履修条件・関連する科目等 院生及び教職員も受講の対象とする。中国語 Level 1a を継続するものである。</p> <p>授業内容 中国語 Level 1b では、中国語 Level 1a で習得した 4 1 1 の音節の発音を確認しながら、中国語の初級段階で学ぶべき基礎的な文法事項を順次学習する。中国語のさまざまな文法項目の学習を通して、中国語の表現上のさまざまな特徴についての理解を深めてゆく。</p> <p>具体的な授業内容は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 名詞述語文、構造助詞 ほか 2. 結果補語、アスペクト助詞 ほか 3. 婉曲表現、代動詞 ほか 4. 動詞の重ね型、方向補語 ほか 5. 所在表現、様態補語 ほか 6. 比較表現、接続詞 ほか 7. 不定代名詞、助動詞 ほか 8. 疑問詞、主述述語文 ほか 9. 前置詞、謙語文 ほか 10. 概数表現、副詞のいろいろ ほか 11. 複合方向補語 ほか 12. まとめ・復習 <p>成績評価の方法 平常点 [出欠席、授業態度] (50%) と期末試験 (50%) による。</p> <p>教科書 「ようこそ、中国語の世界へ」加納光・白木通・成戸浩嗣 (白帝社)</p> <p>参考書 必要に応じ授業で紹介する。</p>
中国語 Level 2b	前田光子	月(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい この授業は日本人講師による講読を中心とした授業であり、より高度な読解力の養成を 目的とする。</p> <p>中国語の初級 (発音・文法事項等) をすでに習得した学生を対象とし、さらに高度な文法的知識を得、それを確実に身につけると同時に、現代中国についての理解を深める。</p> <p>履修条件・関連する科目等 中国語または中国に対して興味を持ち、且つ学習意欲が旺盛であること。中国語の初級 (発音・文法事項等) を習得していること。</p> <p>授業内容 中国語中級の読み物を中心としたテキストを用いる。以下のようなテーマについて書かれたテキスト本文を、これまでに習得した単語・文法事項、同時に発音を確認しながら正確に読解し、現代中国についての理解を深める。</p> <p>テキストの内容に沿って以下のテーマを読む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 蘇州と杭州 2. 長寿の象徴 3. 中国の七夕 4. 春節～中国の旧正月について 5. 国の球技～卓球 6. 大学入試 7. 北京のタクシードライバー 8. 海外留学帰国者事情

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
中国語 Level 2b	前田光子	月(3)	20	<p>9. 転職 10. 一人っ子 11. 追っかけ 12. 砂嵐</p> <p>原則として一回に一課をこなし、学び終えたものについては次回必ず復習を行なう。そうすることによってさらに高度な文法的知識やより多くの語彙を確実に身につけ、使えるものにしていく。</p> <p>成績評価の方法 平常点（授業時の復習、課題及びレポートなどを含む）：期末試験＝8：2</p> <p>教科書 『中国を語る～文化と生活～』山下輝彦・蘇英霞（金星堂）</p> <p>参考書 必要に応じて授業時に指示する。</p> <p>注意事項 履修希望者は第一回目の授業に必ず出席すること。（履修希望者多数の場合、選抜試験を行う可能性あり。） 毎回の復習をきちんとこなすなどの積極的授業態度を求める。</p>
スペイン語 Level 1b	宮下克子	水(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい 前期に続き、スペイン語の基本的な文法を学び、一通りの文法の知識を得る。同時に、簡単な会話や日常的な表現を身につけるべく練習する。前期は、現在時制、及び、過去時制が中心であったが、これに現在完了、未来などの時制を加え、さらに広い範囲の出来事・事柄を表現できるようにする。接続法や命令法なども学び、スペイン語検定では6級、5級、4級くらいまで受験できる実力をつける。また、テキストに沿って、スペインやラテンアメリカの人々の暮らしぶり、文化、ものの考え方などを紹介し、スペイン語が話されている国々に対する学生の皆さんの興味を喚起する。</p> <p>履修条件・関連する科目等 初級スペイン語の前半を終えるくらいまでの文法の知識を必要とする。</p> <p>授業内容 Leccion 13 Te he buscado por todas partes. 過去分詞、現在完了形、関係代名詞、建物の呼称。 Leccion 14 Fue escrito por Soseki. 受動態、再帰動詞、身体の部位の呼称、職業に関する用語。 Leccion 15 Me voy a casa. 再帰動詞の派生用法、受動のいろいろ、不定人称のいろいろ、menteの副詞、報道・娯楽に関する用語。 Leccion 16 Iremos en avión. 未来形、過去未来形、交通機関に関する用語。 Leccion 17 Ver es creer. 命令法、序数詞、関係詞、地図に関する用語。 Leccion 18 Ojalá pasemos los exámenes. 接続法現在形、命令文、学生生活に関する用語。 Leccion 19 Me alegro de que hayamos aprobado. 接続法現在完了、祝福・励まし、に関する用語。 Leccion 20 Hay alguien que hable español? 接続法の用法のまとめ、接続法過去形、条件文、電子メールの略語。</p> <p>成績評価の方法 出席（30％）学習に向かう姿勢（10％）レポート（60％）</p> <p>教科書 Español vivo朝日出版社 福島教隆 参考書 辞書 現代スペイン語辞典 白水社</p> <p>注意事項 辞書に関しては、上記のものに限りません。目的、これからの学習の方向に従い、個人が使い易いものを選んでください。より安価な小事典でも、電子辞書でもかまいません。</p>
スペイン語 Level 2b	西村秀人	木(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい 本授業の目的は、これまで学習してきたスペインの基礎文法を踏まえた上で、それらをさらに発展させ、実践的で総合的なスペイン語の理解を深めることにある。具体的にはラテンアメリカに関するさまざまなタイプの文章を読み解くことで、これまで学習してきた文法事項も確認しつつ、より具体的なスペイン語の運用を目指す。</p> <p>履修条件・関連する科目等 第Ⅰ・Ⅱ期スペイン語1・2・3・4またはスペイン語Level 1a・bを受講している、もしくは、それと同等の基礎知識を有すること。</p> <p>授業内容 原則として受講者の希望・レベルによって授業内容は調整するが、</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
スペイン語 Level 2b	西村 秀人	木(4)	20	<p>基本的にはスペイン語で書かれたさまざまなタイプの文章を購読していくことに重点を置いていきたい。</p> <p>この授業で扱うのは、</p> <p>(1) ラテンアメリカ諸地域を扱った新聞記事</p> <p>(2) ラテンアメリカ各地域の食文化・音楽・社会問題などに関する短めの文章</p> <p>(3) ラテンアメリカのジョーク</p> <p>(4) スペイン語テレビ放送のヒアリング・それに関連する作文等である。</p> <p>またラテンアメリカの音楽CD・テレビ・ラジオ番組を使ったヒアリングも随時行っていく。さらに購読した内容を踏まえた上で自分の意見を作文する、あるいはその内容に関する質問に自由に答えるといった実践的な訓練も可能な限り行っていきたいと考える。</p> <p>文章の購読に際しては適宜文法的解説も含め、これまで学んできた基礎文法のより完全な理解を目指したい。また文法的な問題だけではなく、さまざまなタイプの文章を読解していくことによって、読解のスピードを上げるのに必要な「スペイン語に対する勘」を育てていきたい。</p> <p>成績評価の方法 出席状況、授業への積極的な参加、レポート、定期試験の結果を総合的に評価する。</p> <p>教科書 随時プリント等を配布する。</p> <p>参考書 新聞、WEBページなど授業時に随時紹介する。</p> <p>注意事項 履修条件と授業内容を十分に理解した上で登録すること。</p>
朝鮮・韓国語 Level 1b	洪 順愛	金(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい</p> <p>新たに朝鮮・韓国語を習う学生ばかりでなく今一度基礎からやり直したい学生も対象とする、朝鮮・韓国語の基礎を学ぶための科目である。</p> <p>バランスよく朝鮮・韓国語を学べるよう、基礎文法の学習だけではなく日常会話の練習や平易な文章の講読も行なう。併せて、文化・風俗・歴史・社会事情など背景的知识を学習することにより朝鮮・韓国語世界の諸相を理解し、国際的視野の涵養を図る一歩とする。目標は「朝鮮・韓国語に触れる」である。</p> <p>履修条件・関連する科目等</p> <p>初級朝鮮・韓国語 Level 1a からの継続であるが、相応の準備があれば後期からでも受講可。</p> <p>授業内容</p> <p>この授業では次のような能力を養成する。</p> <p>書記法・発音…ハングルで書かれた文章を確実に読めるようにし、簡単な文章をハングルで正しく書けるようにする。</p> <p>文法…基礎的文法を学習する。</p> <p>日本語話者にとって韓国語の文法事項のうち最も重要なものは用言の活用であるので、この点に重点を置いて学習する。</p> <p>学習する主な文法事項は次の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語基の作り方と使い方 ・不規則活用 ・機能別の文種（命令文・禁止文・勧誘文・感嘆文） ・可能否定文 ・過去形 ・進行形 ・可能文 ・願望形 ・緩叙形 ・連体形 ・基本的な接続表現（「～して」「～するが」「～すれば」「～するので」「～しながら」などに相当するもの） ・文体（くだけた丁寧体） ・話し言葉の特徴 <p>口頭表現力…上の文法事項を含む文章を使って簡単な会話ができるようにする。</p> <p>成績評価の方法 出欠状況、小テスト及び期末試験の成績により総合的に評価する。ただし、期末試験の成績が総合成績に占める割合は6割程度とする。</p> <p>教科書 自家版教材およびプリント教材（教室で配布する）</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
朝鮮・韓国語 Level 1b	洪 順 愛	金(3)	20	参考書 必要なものは授業中に指示する。
朝鮮・韓国語 Level 2b	金 元 榮	火(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい 朝鮮・韓国語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし「習う朝鮮・韓国語から使う朝鮮・韓国語」を指向する科目である。さらに高度な文法的知識を得ると同時に、生の朝鮮・韓国語に実践的に対応できるような運用能力を養成する。したがって、口頭表現力、聴解力を養成するための授業ではできるだけ朝鮮・韓国語を用いる。 また、言語文化Ⅰあるいは朝鮮・韓国語 Level 1 に引き続き、さらに朝鮮・韓国語世界の理解を深める。目標は「朝鮮・韓国語を活かす」である。</p> <p>履修条件・関連する科目等 言語文化Ⅰあるいは朝鮮・韓国語 Level 1 を履修した者を対象とするが、相応の力があればこれらを履修していなくても構わない。ただし、受講申請時に担当教員に相談すること。</p> <p>授業内容 この授業では朝鮮・韓国語 Level 1 あるいは言文Ⅰの学習を通じて得た文法的知識に基づく口頭表現力および聴解力の養成を目指す。授業はできるだけ韓国語を用いて行い、「習うより慣れよ」の原則に従って学習する。発音や文法にこだわらずに、言いたいことを現在の能力を駆使して表現する姿勢と能力を養う。対話の相手が誰であるかに応じた異なる文体の表現を使えるようにする。 学習事項は、次のような表現形式である。(ただし、順不同。時間の都合により項目の 出し入れもある)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自己紹介…他人に自分を紹介するための基本的な表現形式を学習する。 2) 紹 介…他人を紹介するための様々な表現形式を学ぶ。 3) 出会いと別れ…様々な出会いと別れの場面に用いられる表現を学習する。 4) 約 束…人と何かを約束するときに用いる表現を学習する。 5) 道聞き…人に道を尋ねるときに使われる代表的な表現形式を学ぶ。 6) 電 話…電話での対話の基本形式に習熟する。 7) 宿 泊…宿泊の予約や宿泊施設内での対話に用いられる表現を学習する。 8) 病院で…診療の際の医師との対話に必要な表現を学習する。 9) 食堂で…食堂で料理を注文するなど従業員との対話に使われる表現を学習する。 10) ノレバンで…カラオケに行って歌を楽しむ時の対話を学習する。これについては、受講者の希望があれば実際にカラオケで行うかも知れない。 <p>成績評価の方法 出席状況、平常点、期末試験の成績により総合的に評価する。期末試験は韓国語による面接試験とし、その評価に占める割合は6割程度とする。</p> <p>教科書 プリント教材。 参考書 必要な物は授業中に指示する。 注意事項 日韓辞典を必ず用意すること。</p>
朝鮮・韓国語 Level 2b	鄭 芝 淑	木(5)	20	<p>本講義の目的およびねらい 朝鮮・韓国語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし「習う朝鮮・韓国語から使う朝鮮・韓国語」を指向する授業である。さらに高度な文法的知識を得ると同時に、生の朝鮮・韓国語に実践的に対応できるような運用能力を養成する。したがって、口頭表現力、聴解力を養成するための授業ではできるだけ朝鮮・韓国語を用いる。</p> <p>履修条件・関連する科目等 言語文化Ⅰあるいは朝鮮・韓国語 Level 1 の履修者を対象とするが、相応の力があればこれらを履修していなくてもかまわない。ただし、受講申請時に担当教員に相談すること。</p> <p>授業内容 この授業では朝鮮・韓国語 Level 1 あるいは言文Ⅰの学習を通じて得た文法的知識に基づく口頭表現力および聴解力の養成を目指す。授業はできるだけ韓国語を用いて行い、「習うより慣れよ」の原則に従って学習する。発音や文法にこだわらずに、言いたいことを現在の能力を駆使して表現する姿勢と能力を養う。対話の相手が誰であるかに応じた異なる文体の表現を使えるようにする。 学習事項は、次のような表現形式である。(ただし、順不同。時間の都合</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
朝鮮・ 韓国語 Level 2b	鄭 芝 淑	木(5)	20	<p>により項目の出し入れもある)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 疑問…知りたいことを相手に尋ね、またそれに答えるための種々の表現形式を学習する。疑問形式は対話において最も重要な役割を果たし、ヴァリエーションも最も豊富であるので、特に重点を置いて練習する。 2) 否定…陳述を打ち消すための表現形式を学習する。 3) 感嘆…感情を込めて表現するための形式を学習する。 4) 依頼・指示・禁止…相手に何かをさせよう、あるいはほしくないようにするための表現形式を学習する。 5) 願望…自分がやりたいことを相手に伝える、あるいは相手の願望を尋ねるための表現を学ぶ。 6) 勧誘・提案…相手と共同して何かをしようというときに用いる表現を学習する。 7) 意志・予定…意思や予定を表す種々の表現に習熟する。 8) 推量・推測…出来事を推し量るときの表現形式を学習する。 9) 引用・伝聞…他人の言説を別の人に伝えるときの表現形式を学ぶ。 10) 可能・不可能…能力の有無、許可のあるなしを表す表現を学習する。 <p>成績評価の方法 出席状況、平常点、期末試験の成績により総合的に評価する。ただし、期末試験は韓国語による面接試験とし、その総合評価に占める割合は6割程度とする。</p> <p>教科書 プリント教材。</p> <p>参考書 必要な物は授業で指示する。</p> <p>注意事項 日韓辞典を必ず用意すること。</p>
ポルトガル語 Level 1b	重 松 由 美	木(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい ポルトガル語 Level 1b は、ポルトガル語 Level 1a の継続であり、初めてポルトガル語を習う人だけでなく、あらためて基礎から学び直したい人も対象としている。ブラジルポルトガル語の発音及び基礎的な文法事項を学び、基礎的な会話力を身に付けることを目的とする。受講者の関心に応じてブラジルの文化や生活習慣の紹介も併せて行ってゆきたい。</p> <p>履修条件・関連する科目等 前期開講のポルトガル語 Level 1a の継続授業である。それを受講していない場合でも、ポルトガル語の基礎的な知識（参考：動詞の現在形活用の知識）を身に付けた人であれば、だれでも受講可能である。院生及び教職員も受講の対象とする。</p> <p>授業内容 ポルトガル語 Level 1b の授業は、前期に引き続き、週一回の授業で一年間かけてポルトガル語の基礎を習得するクラスである。ブラジルポルトガル語の基礎的な文法事項を徹底的に習得できるように、特に口頭での練習問題を繰り返し行う。また、状況を設定しての日常会話の練習を行い、基礎的な会話力を身に付けていく予定である。</p> <p>成績評価の方法 授業への参加態度と定期試験の結果が総合的に判定される。</p> <p>教科書 必要資料を配布する。</p> <p>参考書 ポ日辞書が必要である。参考：『現代ポルトガル語辞典改訂版』池上岑夫他編、白水社。</p> <p>注意事項 毎回、辞書を持参すること。</p>
ラテン語 Level 1b	有 川 貫 太 郎	木(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい 前期に引き続き、「ケンブリッジ・ラテンコース」を読み進め、ラテン語の初級レベルから中級に進むことをめざします。</p> <p>履修条件・関連する科目等 自由に参加してください。ただし参加した以上は休まないことが大切です。以前トライしたことのある人なら後期からでも不可能ではないでしょう。</p> <p>授業内容 ユニット1の後半ではボンベイの市民の日常のうち、娯楽（劇場、剣闘士の試合）、公衆浴場、政治と選挙などが扱われ、最後の章ではヴェスヴィオス山の噴火に至ります。</p> <p>文法では名詞代名詞の格の用法の詳細を学び、動詞も過去形が登場し、文章がかなり複雑になってきます。</p> <p>成績評価の方法 出席とレポートによって総合的に評価します。</p> <p>教科書 CAMBRIDGE LATIN COURSE. UNIT I (North American Edition)</p> <p>参考書 授業で紹介します。またインターネットでもラテン語学習に役立つ</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
ラテン語 Level 1b	有川貫太郎	木(4)	20	<p>サイトがあります。探索してみましょう。</p> <p>注意事項 教科書は、原則として各自ネットで入手してください。方法については授業で紹介します。</p>
古典 ギリシア語 Level 1b	有川貫太郎	水(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい 前期に引き続き、「リーディング・グreek」を読み進め、古典ギリシア語の基礎を学びます。 ギリシア語の学習は文系、理系を問わず西欧の学問の源流を知る上で有用なものになることでしょう。</p> <p>履修条件・関連する科目等 興味のある人は自由に参加してください。ただし始めたら休まないことが大切です。</p> <p>授業内容 ペロポネソス戦争下のアテネ、その後ソクラテスが活動した時代を背景に、当時の社会のさまざまな面が紹介されていきます。亡命者、女性の人生、訴訟等々。アリストパネスの「雲」を題材にアレンジした章ではソクラテスも登場し、とくに興味をおぼえることでしょう。</p> <p>文法としては、名詞類の第三変化、動詞の未来、過去（アオリスト）、不定詞などを学んでいきます。</p> <p>前期同様、朗読テープ教材も活用してテキストを音読する練習も重視します。</p> <p>成績評価の方法 平常点（出席、提出課題など）と期末テストによって総合的に評価します。</p> <p>教科書 Reading Greek: Text and Vocabulary. (second edition) (The Joint Association of Classical Teacher's Greek Course) (Cambridge University Press)</p> <p>参考書 授業で紹介します。</p> <p>注意事項 教材は各自ネットで購入してください。</p>
イタリア語 Level 1b	A. Sciucca	水(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい 旅行、留学などでイタリア滞在を考える学生に基本的な会話表現を習得してもらうとともに、イタリア理解の入り口を提供することをねらいとする。具体的には、空港、ホテル、買物などの場所において自分の要求を伝えるのに必要な表現を自在に使い、それに対して予測される返答を確実に理解することをはじめ、最終的には、様々な場面におけるイタリア人の思考・行動の特性を感じ取るための言語的な基盤を作ることを目指す。</p> <p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イタリア語 Level 1a の復習 2. 補語代名詞と過去分詞 3. 指示形容詞 4. 命令形 (essere/avere 動詞) 5. 命令形 (規則動詞・再起動詞) と否定命令 6. 半過去 (essere/avere 動詞) 7. 半過去 (規則動詞) 8. 近過去と半過去の相違、所有形容詞 9. 単純未来 (essere/avere 動詞) 10. 単純未来 (規則動詞・不規則動詞) 11. 現在進行形 (ジェルンディオ) <p>* 随時、映画やTV番組の中から会話を抜粋し、生きたイタリア語表現に触れるとともに、イタリア人の価値観や志向、行動様式などについて考える機会を与える。</p> <p>* 中間期にミニテストを実施する。</p> <p>成績評価の方法 期末テスト60%、中間ミニテスト20%、出席状況・履修態度20%</p> <p>参考書 Loredana Chiappini & Nuccia De Filippo "Un giorno in Italia" vol.1 (L'italiano per stranieri: Bonacci editore)</p> <p>参考書 必要に応じて授業で紹介する。</p> <p>注意事項 イタリアは深い歴史と文化を持った国です。表層的なイタリア理解に終わらぬためにも、熱意を持って授業に取り組んで下さい。</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授業内容
英語 言語文化 セミナー	長畑明利	火(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい リロイ・ジョーンズの戯曲を読んで、アメリカの社会・文化・歴史について、特に人種問題について学ぶ。同時に、英文を独力で読み進める力を育む。</p> <p>履修条件・関連する科目等 学習意欲と知的社会的関心。基礎的な文法力。</p> <p>授業内容 ・リロイ・ジョーンズの戯曲を読んで、アメリカの社会・文化・歴史について学ぶ。特に人種問題について学びつつ考える。 ・ジョーンズ（後にアミリ・バラカと改名）はアフリカ系アメリカ人で詩人としても知られる。ブルース論の著者でもある。 ・第1回目の授業で（場合によっては2回目も）、ジョーンズ（バラカ）についての紹介を行い、第2週目からテキストを読む。 ・授業は基本的に訳読。 ・適宜、課題を出し、担当者に報告してもらう。 ・可能なら視覚映像も利用したい。 ・学期末には英語力を問う試験と、授業で読んだエッセイを論じるレポートを課す。</p> <p>成績評価の方法 授業点（訳、課題報告などを含め、合計3割）、期末試験（4割）、期末レポート（3割）、積極性（ボーナス）の割合で評価する予定。</p> <p>教科書 LeRoi Jones, <i>Dutchman and The Slave: Two Plays</i> (Harper Perennial, 1971) [ISBN: 978-0688210847]</p> <p>参考書 本田創造『アメリカ黒人の歴史』（岩波新書）。その他、授業中に、また、授業HPにて紹介する。</p> <p>注意事項 欠席3回で単位放棄とみなす。私語、ケータイ、睡眠禁止。テストでのカンニング、期末レポートにおける無断盗用は成績不可。授業HP (http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/~nagahata/lectures08/nuide08scul.html) で最新情報を確認すること。シラバスと授業HPとで記載内容が食い違っているときは、後者に従うこと。</p>
英語 言語文化 セミナー	鈴木繁夫	金(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい 私達が英語を書く場合に模倣するのにふさわしい、きわめて良質の文体で書かれている英語を速読しつつ、説明文、議論文の作り方を学んでもらいます。あわせて、説明・議論をするための思考パターンも学んでもらいます。わかっているつもりになっている時制、助動詞、基本単語などに焦点をあてて、これらにたいする私たちの微妙な誤解を修正します。</p> <p>履修条件・関連する科目等 言語文化科目Ⅰコミュニケーション 言語文化科目Ⅱ 言語文化科目Ⅲ全学教育科目履修の手引きにある通り。</p> <p>授業内容 テキストは、とりわけ西洋絵画の見方をわかりやすくていねいに教え、かつまた西洋史、神話、キリスト教の重要な点をかいつまんで理解できるようになっています。授業は、三つのセクションから成り立っています。第一セクションでは、授業前にあらかじめ指定された学生によるテキストの要約、部分的な翻訳をおこないます。第二セクションでは、教師と学生の間での内容理解度をためす質疑応答、第三セクションでは、テキストを叩き台とし広い視野からの分析を討論形式でおこないます。学期末までに、ひとつの視覚芸術作品について、授業で取り扱った内容を梃子にしてレポート(2,000字程度)を提出してもらいます。</p> <p>一回に進む量は1,500語程度で、ヘビー級です。英語に慣れてもらうために、英語文章をそのまま暗記してもらいます。そのために穴埋め小テスト(クローズ・テスト)と和文英訳テスト(英文和訳ではありません)を毎回おこないます。</p> <p>学期の始めと最後に議論文の模擬テストを行い、読解力がどのくらい養成されたのか、自己判定してもらいます。</p> <p>成績評価の方法 発表質疑・議論への参加(30%)、テスト(50%)、レポート(20%)</p> <p>教科書 Susan woodford, <i>Looking at Pictures</i>、松柏社</p> <p>参考書 ウッドフォード、ケンブリッジ西洋美術の流れ(8)／絵画の見方、岩波書店</p> <p>注意事項 ネット接続できるパソコンが必要です。</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
英 語 表 現 セ ミ ナ ー	杉 浦 正 利	月(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい 英語でわかりやすい文章が書けるように文章構成法を習得することを目的とする。和文英訳ではなく、自分の意見を、事実に基づき合理的に英語で論述することができるようにする。 インターネットを使った英語での情報発信や、将来、専門論文を英語で書く時に、指針となる英語文章構成法の根本原理を学んでもらいたい。</p> <p>授業内容 五百語から千語程度の「エッセー」(小論文)を実際に書くことを通して、いかにわかりやすい文章を書くかということ学ぶ。エッセーはコンピューターを使って書き、インターネット上で閲覧できるようにする。いわゆるホームページの作成に使われるHTMLを使い、英語の文章に構造を持たせる方法を学ぶ。 具体的には以下の項目を学ぶ。 1) 文章を書くとはどういうことか 2) 構造と言語表現化 3) パラグラフの構造 4) 論文(エッセー)の構造 5) 文章構成法の基本パターン 6) 構造をあらわす表現 7) HTMLと文章構造 8) アウトラインの書き方 9) 文章化の方法 10) 推敲のポイント</p> <p>毎回、授業の初めに英語論文でよく使われる表現の小テストを行う。各授業では、学習項目の解説と実際の英語文章作成演習を行う。 この授業を受けることで、だれでもわかりやすい文章を書くコツがわかるようになる。また、将来、英語で専門論文を書く人にとってもその基礎を学ぶことができる。</p> <p>成績評価の方法 出席、平常点、期末試験の三つの観点より総合的に評価する。</p> <p>教科書 藤本滋之『やさしく書ける英語論文』松柏社 参考書 名古屋大学言語文化部『インターネットと英語学習』開文社出版 注意事項 コンピューターを使うが必要な操作は授業中に教えるので、コンピューターの操作に慣れていなくても心配ない。</p>
英 語 表 現 セ ミ ナ ー	岩 城 奈 巳	火(1)	20	<p>本講義の目的およびねらい 前期に引き続き、TOEFLの特にライティングを使用し個々の力を伸ばし、コミュニケーションを通じて英語の理解を深めていく。</p> <p>履修条件・関連する科目等 英語に対する意欲。TOEFL- iBT で61点 (CBT : 173、PBT / ITP : 500) 以上、または TOEIC 650点、英検準1級以上が望ましい。</p> <p>授業内容 前期同様、与えられた課題について、毎回ライティングの練習を行う。課題は毎回提出。 この講義は TOEFL 受験した者、英語中級、上級向けになるが、やる気がある学生は意欲をもって取り組んでほしい。ライティングの更なる強化、時間内での課題作成を毎回行い、更に実際の試験で必要なリスニング、リーディング、スピーキングを練習問題使用して取り入れ、試験に向けての訓練をする。</p> <p>成績評価の方法 出席、授業態度重視。毎回の簡単なテスト又は提出物と試験結果をあわせた総合評価をおこなう。</p> <p>教科書 随時プリント配布又はウェブ使用予定。 参考書 随時紹介予定。 注意事項 欠席3回で単位放棄とみなす。</p>
英 語 表 現 セ ミ ナ ー	滝 沢 直 宏	水(1)	20	<p>本講義の目的およびねらい 全学教育棟CALL3を使い、受講生各自が選んだ英文の多読と精読を平行的に行いつつ、電子化された大規模な英語の資料(1億語から成る現代英国英語のコーパス)を利用して、英語表現力を向上させることを目的とする。その際、文法やコロケーション(語と語の慣習的結合)に十分な注意を促す。</p> <p>授業内容 各自、自らが選んだ英語の雑誌・新聞などを定期的に購読し、「自分では辞書を引かなくても意味が分かるが、なかなか自分から使うことはできない」表現で、なお且つ「真似てみたいと思うような」表現を数多く</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
英 語 表 現 言 語 表 現 セ ミ ナ ー	滝 沢 直 宏	水(1)	20	<p>収集し、それを基にして、表現力の向上を図る。まず、初回において、(1) どの程度の難易度の英文を選択すべきか、どのような雑誌・新聞などを読むべきかに関して解説する。(2) 利用すべき英英辞典、英和辞典の紹介、(3) コーパスとは「電子化された大規模な英語の資料」であるが、名古屋大学では1億語から成る現代英国英語のコーパス (British National Corpus) を利用できる環境が整っているため、そのコーパスの利用方法に関して簡単に紹介する。(但し、マニュアル (英文) がオンラインで読めるようになっているので、詳細は各自で学ぶことになる。それ自体が英語の勉強である。)</p> <p>(4) 英語の表現力を伸ばすにあたって、どのような英語表現に注目すべきかを具体的に解説する。</p> <p>以上のことを前提にして、第3週日以降、毎週、各自が選んだ表現を事前に電子メールで提出して貰う。授業では、その表現のどこが有益であるのかを何人かに発表してもらい、皆で議論する。また、そのようにして収集された有益な表現が実際にどのように使われているかを、コーパスを利用して調査し、表現力の向上を図る。その際、コロケーション (語と語の慣習的結合) にも十分な注意を促す。</p> <p>簡単にいうと、コーパスを活用することで、「書けそうで書けない Native の英語」を身に付け、実際の作文において自然に使いこなせるようになることを目指す。</p> <p>成績評価の方法 宿題 (第3週以降、毎週)、レポート (学期末)</p> <p>教科書 各自、講読する雑誌、新聞などを入手すること (WWW からコピーしても構わない)。詳細は初回に指示する。</p> <p>参考書 滝沢直宏2006『コーパスで一日瞭然』小学館</p> <p>注意事項 英英辞典を必ず一冊は用意し、頻繁に引くこと。コンピュータを多用する。宿題は、電子メールで提出するので、電子メールが使えない人は受講不可。</p>